

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	5RA-2401
研究課題名	農薬類の同時曝露が中枢神経系に及ぼす複合リスクに関する実践的評価法の開発
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	富山大学
研究代表者名	平野哲史

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

各種の蛍光プローブを用いて神経毒性 AOP の共通 Key event をハイスループットに評価可能な *in vitro* アッセイ系の構築という初年度の目標はほぼ達成し、さらに 12 種の農薬を評価しデータ取得を行っており計画どおりの進捗が認められる。農薬混合系の生体への複合影響を相加・相乗作用の観点から解明するという、非常に有意義なものと判断される。特に、脳神経系への影響に焦点を当てることは、子供への影響など社会的な関心も高く、学術的にも大変価値のある取り組みであると考えられる。現実的リスク評価を行う上で、本研究の農薬の観測濃度域と、実際の農薬散布時における暴露濃度域との関係について、具体的な比較と検証が必要と考えられる。また、現時点で、*in vitro* アッセイ系による複合影響評価試験が十分に実施されていないため、実験動物での暴露試験実施の可能性に懸念がある。なお、アッセイ系の測定結果のバラつきが大きいことなどから、今後の試験結果の再現性改善を図ることを期待する。